



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和4年11月8日（火）



1時間目は、おひさま学級で外国語活動の授業がありました。本時のめあては、「すきなものを えいごで きいたり こたえたりしよう。」です。授業の前半では、物や事象の英語表現について復習をしました。何回も繰り返しているので、色、動物、曜日、天気などの英単語の意味をきちんと覚えています。授業の後半では、“Do you like ~?” “Yes, I do.” “No, I don’t.”を使ってコミュニケーションの練習をしました。ゲームを交えながら、楽しく学習できました。



1年生は、国語で「じどう車くらべ」という説明文の学習です。写真は、音読をしているところです。一文読んで交代する「まるよみ」も慣れてきて、大きな声で音読することができています。説明文の学習は、「くちばし」以来、2度目となります。1年生は、事柄の順序などを考えながら内容の大体をとらえるのが目標です。この教材では、いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」に目をつけて読み進めます。車の「つくり」は、「しごと」によって変わることとらえます。また、説明文が、問いと答えによって構成されているという、文章全体の構成をとらえることも学びます。



理科室で5年生が実験を行っていました。「物のとけ方」の学習です。本時は、食塩とミョウバンをそれぞれ水で溶かします。この実験を通して、物が水に溶ける量には限界があること、溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを確かめていきます。実験方法を考えたり、結果を予想したりしながら、学習を進めます。実験の目的に応じて器具や機器などを選択したり、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録する技能も学びます。ミョウバンを水に溶かすのは大変ですが、コンロで水を温めるとどんどん溶けていきます。子供たちも目を丸くしていました。全て溶け切ったとき、「校長先生！溶けました!!」と喜びながら報告してくれました。



こちらも5年生です。書写で書初め練習に取り組んでいました。教室には墨汁の良い香りが漂っています。本時は、「明るい声」の「い」と「声」を一文字ずつ練習します。書初めは、まず大きく書くことが大切です。そのためには、太筆にたっぷり墨を含ませなければなりません。子供たちの書いた字を見ると、かすれている子はいなかったため、まずは合格です。画仙紙での練習が始まったら、私も書写の授業に参加しようと思っています。

